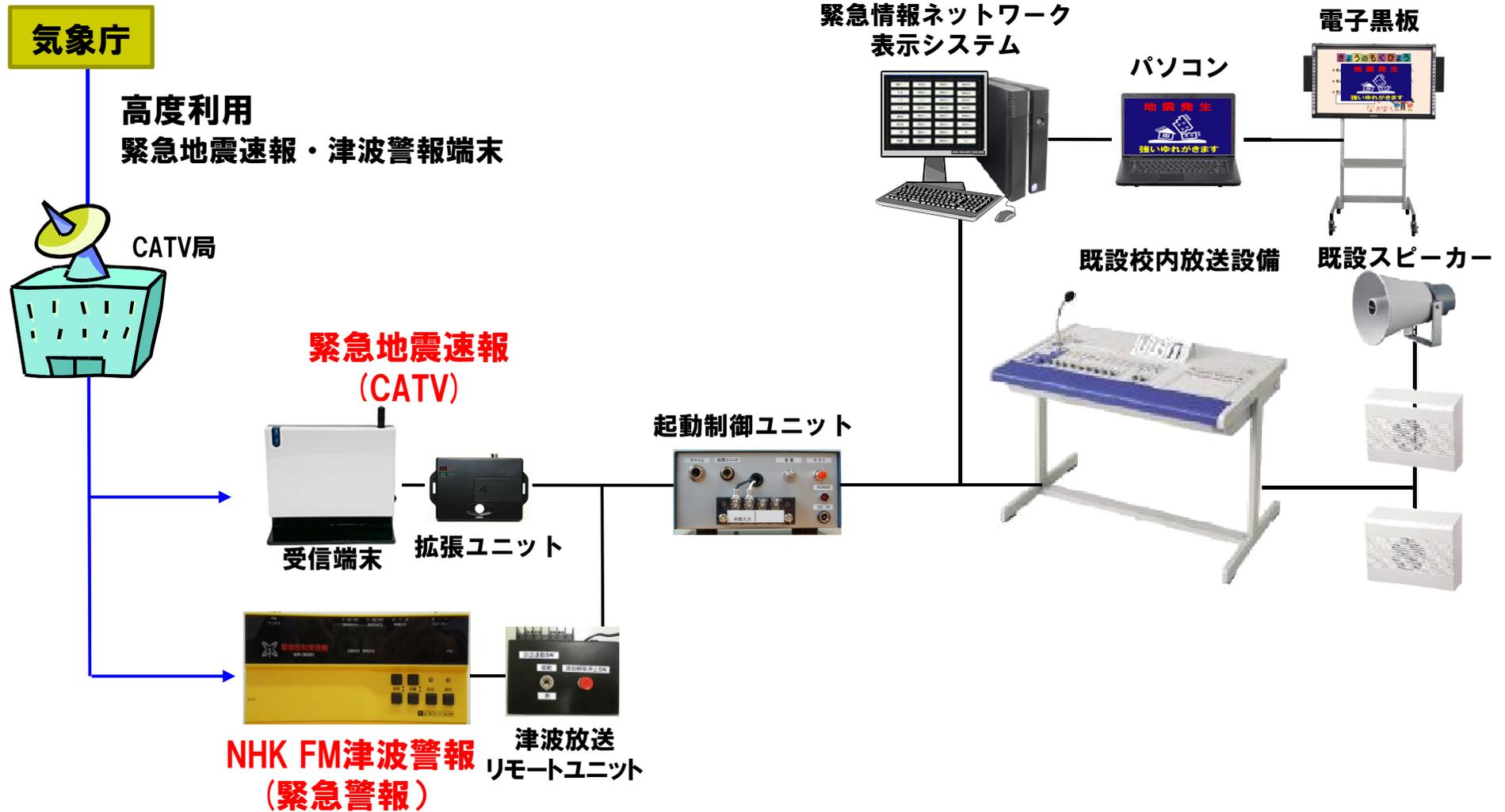


導入実績

木曾岬小学校・中学校 様



速報 電子黒板に表示

木曾岬の 小中校に設置 大地震と津波に備え

東海、東南海などの大地震と津波に備え木曾岬町は、町内の小中学校に、気象庁の緊急地震速報とNHKの緊急警報放送を受信し、校内に知らせる設備を初めて。

一 整えた。校内放送で流れると同時に、教室の電子黒板や職員室のパソコンに表示される。こうした設備の学校への導入は北勢地方では初めて。

町内には小中が一校ずつあり、電子黒板は小学校に十五台、中学校に八台を配置。これを活用し、児童や生徒が授業中でも目と耳から情報を得られるよう



津波警報などが出ると、教室の電子黒板に表示される。木曾岬町の木曾岬小学校で

にした。

三十一日には、木曾岬小で小中の関係者が受信テストを見ながら設備の説明を受けた。試験的に流した緊急地震速報を受信する

と、使用中の電子黒板やパソコン画面に「地震発生」「強いゆれがきます」と表示され、ピーピーピーという音も鳴った。

緊急地震速報は地域に係る震度4以上

の場合、津波などの緊急警報放送は全国の情報も流れる。木曾岬小の池田祐一教頭は「年に三回実施している避難訓練にも生かしていきたい」と話した。

また、併設して立つ幼稚園と保育園には、それぞれ音声が流れる放送設備を整えた。工事費は四施設で計三百四十一万五千円。

(渡辺聖子)